

会社概要

社 名 株式会社 自然回復
代 表 者 代表取締役 谷口真理
本社所在地 〒653-0844
神戸市長田区西代通1-1-5-504

設立目的

1. 害のある外来生物駆除事業及び受託
2. ペットの代理飼育及び受託
3. 動物飼育施設の経営
4. 動物の斡旋及び販売
5. 駆除外来生物の利用方法の企画、開発及び販売並びに輸出
6. 河川・湖沼等の生態系の調査、診断サービス
7. 外来生物駆除用具のレンタル及び販売
8. 河川・湖沼及び公園等の管理の受託
9. キャラクター商品の企画、製作、販売及び販売代行
10. 以上に付帯関連する一切の業務

お問い合わせ

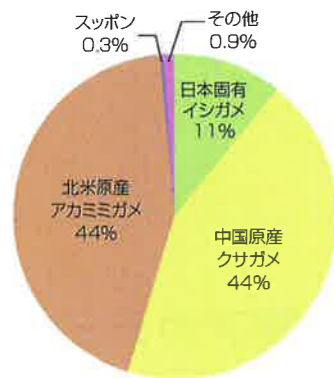
T E L 080-4159-3966
E-mail info@shizenkaifuku.com
U R L <http://shizenkaifuku.com>



株式会社
自然回復
Nature Recovery Co.,Ltd.

外来生物アカミミガメの
駆除なら自然回復へ





日本の水辺のカメ、約半数はアカミミガメ

弊社の調査結果によると、日本の水辺で確認される淡水ガメの内、44%はアカミミガメで、日本にしか生息しないニホンイシガメはわずか11%。また、カメと同時にみられる動物と言え、ブラックバス、ブルーギル、アメリカザリガニ、ウシガエルと外来種ばかりで、いつの間にか日本の生物が外来種へ置き換わっています。

クローズアップされるアカミミガメ問題

アカミミガメは、北米原産の外来種です。近年、このカメの増加によってレンコン畑での農業被害、ハスなどの水生植物の消失や希少在来生物の減少等の悪影響が各地で報告され、アカミミガメ問題が注目されています。



アカミミガメの食害によるハスの消失の実例
写真：篠山市提供

地方自治体に求められる取り組み

2015年、環境省は「アカミミガメ対策推進プロジェクト」を公表し、アカミミガメ問題に対して取り組みを開始しました。それに伴い、各地方自治体も実態の把握、駆除の実践、啓発などさまざまな対策を求められています。

豊かな自然を回復させるために

自然は長い年月をかけて培われる文化のようなもので、日本には日本独自の自然が存在します。そこに本来いるはずのない外来種が入り込むと、日本独自の自然は破壊されます。アカミミガメを含めた外来種対策を実施することは日本独自の自然環境の保全に繋がります。私たちは、身近な自然を回復させるお手伝いをします。

弊社が提案するアカミミガメ対策と在来種保全

アカミミガメ対策

- ・ 生息実態調査
- ・ 被害状況の把握と予測
- ・ 駆除の実践
- ・ 処理方法の研究
- ・ 講習会等の開催

アカミミガメの根絶及び低密度管理の提案

在来種保全

- ・ 生息実態調査
- ・ 保全策の研究
- ・ 観察会等の開催

保全策の提案



外来種アカミミガメおよび在来種の生息実態調査



アカミミガメ駆除の実践

駆除率 90% 以上の実績



市民向けの講習会および観察会



事業実績

平成26年度 調査・研究実績	
明石市ミシシippアカミミガメ対策協議会	ミシシippアカミミガメ防除調査業務
篠山市	篠山城跡南堀ミシシippアカミミガメ駆除業務
兵庫県	貴重な野生生物等調査業務（は虫類・両生類）
(一財)自然環境研究センター	ニホンイシガメ等生息状況調査業務
須磨海浜水族園共同事業体	神戸市淡水ガメ調査補助業務
奄美海洋生物研究会	淡水ガメの食性・生殖腺分析業務

開催年月	講演・観察会実績主催者	会名	講演内容
2015.10	奄美大島自然保護協議会	奄美の水生生物多様性シンポジウム	日本における移入淡水ガメ防除の現状・奄美の移入淡水ガメの食性と繁殖状況
2015.8	明石市	アカミミガメ防除講習会	
2015.7	伊勢志摩国立公園パークボランティア連絡会	外来生物勉強会	外来生物問題とアカミミガメ駆除について
2015.7	香川大学博物館	第38回ミュージアム・レクチャー	親子でカメキャッチため池観察会
2014.8	奄美市	奄美の水生生物多様性シンポジウム	日本における外来種ミシシippアカミミガメ